

前田家の宝物 尊経閣文庫

前田育徳会展示室は、前田家が収集した古典籍、古文書、甲冑、陣羽織、絵画などの宝物を所蔵する「尊経閣文庫（そんけいかくぶんこ）」の中から、選りすぐりの品々を展示している。尊経閣文庫自体は東京にあるが、前田家と金沢の歴史的なつながりから、石川県立美術館は、文庫の遺品や美術品約 400 点の作品の所蔵・展示が認められている。

国宝 22 点、重要文化財 77 点を含む 1 万点余りのコレクションは、一族のコレクションとしては驚異的な数である。前田家は 1583 年から 1871 年まで加賀藩（現在の石川県と富山県）を治めた。3 代藩主・前田利常（1594-1658）と、その孫で 5 代藩主・前田綱紀（1643-1724）が、尊経閣文庫のコレクションの大部分を収集したのである。

前田育徳会展示室では、月替わりで「尊経閣文庫」に収められている品々を展示している。前田家伝来の鎧兜、加賀象嵌の鎧、茶道具、山水画、書道、時には百工比照（工芸の技法を示す見本や工芸品）も展示されている。この展示室では、保存状態のよい貴重な品々を間近で見ることができ、日本有数の武家が誇った名品を鑑賞することができる。